



連合わかやま

日本労働組合総連合会
和歌山県連合会
〒640-8317
和歌山市北出島1丁目5-46
TEL (073) 436-0501
FAX (073) 436-5226
発行責任者 濱地 正由

【1月～4月の取組み】

連合和歌山2025年「新春の集い」を開催

2025年1月7日（火）、ホテルグランヴィア和歌山において、連合和歌山2025年新春の集いを開催しました。

冒頭の挨拶として、連合和歌山山本会長からは、2025年春季生活闘争に向けた意気込みや募金活動などの社会貢献活動の強化について触れられる等、2025年の連合和歌山としての取り組みへの思いが述べられました。また、岸本知事を始め多くの来賓の方々にもご出席を頂き、出席者約180人とともに、新年を祝う機会となりました。



第6回地域活性化フォーラムを開催

2025年2月1日（土）、プラザホープにおいて、第6回地域活性化フォーラムを開催しました。

講演の第1部では、和歌山県商工労働部長の大川伸也様を講師にお招きし、「和歌山県商工労働施策について」をテーマに、和歌山県が誇る第1次産業や出身の有名人・偉人などをご紹介頂くなど、改めて和歌山県の魅力を知る機会となりました。第2部では、株式



会社Y e e Y共同創業者／代表取締役の島田由香様を講師にお招きし、「企業と地域の未来を創造するウェルビーイング経営」をテーマに、ウェルビーイングの意味や重要性に加えて、人生の幸福度を高めるための考え方や工夫についてお話を頂きました。第3部では、NPO法人フードバンク和歌山の古賀敬教様を講師にお招きし、「フードバンク和歌山の取り組み」をテーマにご講演を頂きました。フードロスの社会課題やフードバンク和歌山が抱える課題について共有することができました。

また、フォーラムの最後には、各産別単組から集まった寄付品の贈呈セレモニーを実施し、段ボール43箱分をフードバンク和歌山の古賀理事長にお渡しをしました。

地域活性化フォーラム：地域の関係者と連携をはかり、地域における課題の解決や活性化を推進するための取り組みとして毎年開催。

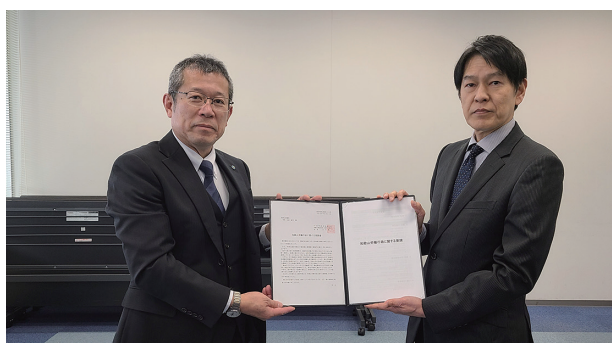
2025年春季生活闘争2.27集会を開催

2025年2月27日（木）、和歌山城西の丸広場において、「2025年春季生活闘争2.27集会」を開催し、140人の参加者が集まりました。

冒頭、山本会長の挨拶では、賃上げの新たなステージ転換に向けて、春季生活闘争に取り組んでいくとともに、適正な価格転嫁の推進や労働生産性の向上などの重要性について触れられました。決意表明では、U Aゼンセン、基幹労連、電機連合、電力総連、J A M、J E C連合、運輸労連、情報労連から、春季生活闘争に向けた意気込みを述べていただき、集会の最後は、青年委員会の八代委員長からのガンバロー三唱により、春季生活闘争に向けた意思統一を図りました。



2025年和歌山労働局への要請書の提出



2025年3月13日（木）、和歌山労働局において要請書を松浦労働局長に提出しました。

要請項目のうち、最低賃金法における使用者の義務については、労働局としても最低賃金の啓発に係る取り組みのなかで前向きに検討するという回答を頂くなど、一部では、前進した回答を頂くことができました。

また、意見交換会では、人員不足の現状や育児休業に係る助成制度など、変わりゆく雇用情勢について様々な意見交換ができました。

女性組合員を対象として学習会

2025年3月29日（土）和歌山市「プラザホープ」にて、「女性組合員を対象とした学習会」を55人参加のもと開催しました。

学習会の一部では、「大人女性のヘルスケア～毎日の暮らしを大切に～」をテーマに助産師・思春期保健相談士・性教育認定講師の浜野優子先生から講演を頂くとともに、二部では、連合本部井上副事務局長から、「ジェンダー平等初級」と題して、日本におけるジェンダー平等の状況や課題等について、お話を頂きました。

参加者からは、「学びがたくさんある学習会でした。」、「とても有意義な時間となりました。」など前向きな声が聞かれるなど、満足度の高い学習会となりました。



政治研修会を開催



2025年4月11日（金）、プラザホープにて連合和歌山の政治研修会を開催しました。冒頭、主催者を代表して連合和歌山・山本龍一会長より挨拶があり、その後、連合本部

の内藤副事務局長を講師に迎え、現下の政治情勢および公職選挙法に関する研修会が行われました。

研修では、直近の政治情勢に触れるとともに、労働組合としての政治活動における正しい理解を深めるため、SNS等における公職選挙法との関係についても詳しく解説いただき、今後の活動に大変有意義な講演となりました。

第96回メーデー和歌山県中央集会を開催

2025年4月26日（土）、和歌山城「砂の丸広場」にて、第96回メーデー和歌山県中央集会を開催しました。今年のスローガンは「希望と未来をつかもう！働く仲間の想いをひとつに」。晴天に恵まれ、約3,000人が参加し、力強く連帯の意志を確認し合う一日となりました。

第1部では午前9時から中央式典を開催。連合和歌山の山本会長や来賓による挨拶、祝辞に続き、特別決議やメーデー宣言などを採択し、「ガンバロウ三唱」で団結を高めました。

第2部として、10時から約500人が参加するデモ行進を実施。参加者は、組合旗やプラカードを掲げながら和歌山城周辺を練り歩き、労働者の声を社会的メッセージとして、力強く発信しました。

第3部のイベント行事は10時30分からスタートし、子どもたちに大人気の「それいけ！アンパンマンショー」や、バルーンアート、シャボン玉演示など多彩なプログラムが展開されました。また、模擬店やフードドライブ、プラカードコンテスト、各種啓発ブースも大いに賑わい、来場者に楽しみながら社会課題への理解を深めていただける場となりました。12時15分からの福引抽選会では、豪華賞品が多数用意され、フィナーレにふさわしい盛り上がりを見せました。

多くの組合員、実行委員の協力のもと、安全かつ充実した内容で開催できたことに心より感謝申し上げます。

